

過疎だけどにぎやかな町。斬新なチャレンジを歓迎し、応援する寛容さにあふれ、様々な人がこぞって集う、活気ある町。

新しい時代の中でも決して埋もれることなく、小さいながらもキラリと光る存在でありたい。

新しいまちづくりの合言葉、「にぎやかそ」にはそんな思いが込められています。

みんなが笑顔で夢を語れる町を目指して取り組む、美波町の地方創生を紹介します。

“止まらない通信網”を活用した新しい動き

津波や地震などの災害発生時に懸念されるのが電話やインターネットなど通信網の寸断ですが、そのような場合に活躍が期待されるのが、美波町にサテライトオフィスを持つ企業、株式会社SkeedのIoT技術を駆使した“止まらない通信網”。

2017年、2018年の美波町避難訓練で行われた実証実験では、対象となる地区(日和佐浦など)の住民に位置情報を発信するタグを配布。災害対策本部のモニターやスマートフォンアプリに持ち主の移動状況が随時表示されるというものでしたが、この技術・システムを応用した新たな動きが出てきています。

■ 減災対策を日常の健康対策にも活用！

“止まらない通信網”を活用した減災実証実験では、位置情報を知らせる小さなタグをどうすれば日常的に身につけてもらえるか、というのも大きな課題でした。

そこで、7月よりスタートしたのが「健康マイレージ実証実験」です。これは、“止まらない通信網”により確認できる位置情報から移動距離を記録。「移動＝歩行運動をした」として考え、距離によるポイントを付与しようというもの。

今回は、“止まらない通信網”の実証実験が行われ、通信に必要な中継機の設置されている日和佐浦を中心とした地区で参加者約50名を募り、貯まったポイントに応じて指定ゴミ袋と交換できるという運用案を試すこととなっています。

また、“止まらない通信網”実証実験を実施している産官学コンソーシアム(共同事業体)のメンバー文理大学は、参加者への体力測定や健康状態の聞き取りなどを実施。実験開始時と終了時のデータより、歩行運動が健康にどう作用するかの関係も同時に調査していく予定です。



実証実験に参加し、位置確認用のタグを受け取る皆さん。運動と健康への関心は高く、実験に対する期待の声も多く聞かれました。



6月29日、30日に行われた参加者への健康調査の様子。10mの歩行時間などの体力測定も行われました。

お知らせ

美波町の地方創生に関する新聞記事や雑誌が以下の場所でご覧いただけます！

日和佐地区：日和佐図書・資料館1階

由岐地区：由岐ふれあいホール(ぼっぼマリ2階)